



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月14日

上場会社名 株式会社エクストリーム 上場取引所 東
コード番号 6033 URL <https://www.e-xtreme.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 佐藤 昌平
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 島田 善教 TEL 03-6673-8535
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	7,483	18.0	894	36.9	1,096	41.3	721	29.4
2023年3月期第3四半期	6,343	18.5	653	54.7	775	55.7	557	91.7

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 820百万円 (60.5%) 2023年3月期第3四半期 511百万円 (46.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	131.15	131.06
2023年3月期第3四半期	101.44	101.11

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	7,841	5,446	61.9
2023年3月期	7,118	4,825	59.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 4,851百万円 2023年3月期 4,227百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2024年3月期	—	0.00	—		
2024年3月期（予想）				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正については、本日（2024年2月14日）公表いたしました「通期業績予想（連結）および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,100	14.6	1,050	2.5	1,260	7.2	825	1.3	149.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2024年2月14日）公表いたしました「通期業績予想（連結）および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご参照下さい。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	5,502,376株	2023年3月期	5,502,376株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	868株	2023年3月期	868株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	5,501,508株	2023年3月期3Q	5,495,928株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨ではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2023年4月1日~2023年12月31日)におけるわが国の経済は、企業収益や個人消費・インバウンド需要の改善を背景に、穏やかな回復基調で推移する一方、世界的な半導体供給不足に起因するサプライチェーンのひっ迫状況は依然として続いているほか、ロシア・ウクライナ情勢の長期化による原材料価格の上昇、供給面での制約や金融市場の変動など、景気の先行きは極めて不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループが提供する各種サービスにおいては、これらの影響を直接的に受けることはなく、「デジタル人材事業」「受託開発事業」「コンテンツプロパティ事業」を積極的に展開し、取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は7,483,533千円(前年同四半期比18.0%増)、営業利益は894,695千円(前年同四半期比36.9%増)、経常利益は1,096,274千円(前年同四半期比41.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は721,530千円(前年同四半期比29.4%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

<デジタル人材事業>

デジタル人材事業は、ゲーム・スマートフォンアプリ・WEB・IT企業などに対し、プログラミング・グラフィック開発スキルを持った当社社員(クリエイター&エンジニア)が顧客企業に常駐し、開発業務を提供しております。

当第3四半期連結累計期間においては、企業のDX推進などによる技術ソリューションに対する旺盛な需要を背景に、新規・既存案件とも受注が好調に推移いたしました。なお、稼働プロジェクト数は6,675(前年同四半期稼働プロジェクト数は6,007)となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は4,525,634千円(前年同四半期比13.2%増)、セグメント利益は707,391千円(前年同四半期比2.2%増)となりました。

<受託開発事業>

受託開発事業は、主にデジタル人材事業を通じて顧客から持ち込まれるスマートフォンアプリ開発案件、クラウドプラットフォーム構築、CRM(Customer Relationship Management)構築~導入~運用など、案件を持ち帰り形式にて受託し、納品するサービスを提供しております。案件種別としては、「新規開発」「保守運用」「追加開発」「ラボ型開発」の4つに大別されます。

子会社の株式会社エクストラボ、EXTREME VIETNAM Co.,Ltd.、株式会社E P A R Kテクノロジーズ、エス・エー・エス株式会社、酒田エス・エー・エス株式会社についても当該事業に含まれます。

当第3四半期連結累計期間においては、企業のデジタル施策への投資拡大を背景に売上高、営業利益ともに順調に推移しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は2,779,758千円(前年同四半期比19.2%増)、セグメント利益は488,528千円(前年同四半期比143.6%増)となりました。

<コンテンツプロパティ事業>

コンテンツプロパティ事業は、当社が保有するゲーム・キャラクター等の知的財産を活用し、様々な事業展開を行うセグメントであり、具体的には、ゲーム運営のほかに、当社が保有するゲームタイトルまたはキャラクターなどを様々な商材へ使用許諾を行うライセンス事業が含まれております。

子会社の株式会社Dragami Gamesは当該事業に含まれます。

当第3四半期連結累計期間においては、当社がライセンス許諾したスマートフォン版ゲームアプリ『ラングリッサー』のゲーム販売額に応じたロイヤリティ収益が発生した他、株式会社Dragami Gamesのゲーム販売の収益が発生しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は348,622千円(前年同四半期比4.5%減)、セグメント利益は251,329千円(前年同四半期比11.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産・負債・純資産の状況

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、7,841,978千円となり、前連結会計年度比723,084千円の増加(前連結会計年度比10.2%増)となりました。これは主に、現金及び預金が182,180千円、受取手形、売掛金及び契約資産が98,769千円、仕掛品が134,616千円、有価証券が164,648千円がそれぞれ増加した一方、のれんが24,914千円減少したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、2,395,843千円となり、前連結会計年度比102,411千円の増加(前連結会計年度比4.5%増)となりました。これは主に、短期借入金が200,000千円、未払金が104,875千円増加した一方、未払法人税等が164,091千円、賞与引当金が56,951千円減少したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、5,446,134千円となり、前連結会計年度比620,673千円の増加(前連結会計年度比12.9%増)となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益が721,530千円の計上により、利益剰余金が556,485千円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績を鑑み、売上高・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益・1株当たり当期純利益について上方修正しております。詳細につきましては、2024年2月14日に公表いたしました「通期業績予想(連結)および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,207,411	3,389,591
受取手形、売掛金及び契約資産	1,366,665	1,465,435
有価証券	6,573	171,221
製品	2,136	130
仕掛品	257,684	392,301
その他	172,213	225,103
貸倒引当金	△920	△920
流動資産合計	5,011,765	5,642,864
固定資産		
有形固定資産	75,617	87,984
無形固定資産		
ソフトウェア	55,640	50,047
ソフトウェア仮勘定	—	17,343
のれん	218,695	193,781
無形固定資産合計	274,336	261,172
投資その他の資産		
投資有価証券	1,287,101	1,285,011
関係会社株式	163,349	177,192
その他	314,091	395,120
貸倒引当金	△7,367	△7,367
投資その他の資産合計	1,757,173	1,849,956
固定資産合計	2,107,128	2,199,113
資産合計	7,118,893	7,841,978

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	650,000	850,000
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	28,560	28,560
未払金	868,577	973,452
未払法人税等	272,248	108,157
賞与引当金	134,250	77,298
その他	254,002	299,199
流動負債合計	2,217,638	2,346,668
固定負債		
社債	15,000	10,000
長期借入金	38,160	16,740
退職給付に係る負債	6,813	6,615
繰延税金負債	15,819	15,819
固定負債合計	75,793	49,174
負債合計	2,293,432	2,395,843
純資産の部		
株主資本		
資本金	419,451	419,451
資本剰余金	413,258	413,258
利益剰余金	3,393,096	3,949,581
自己株式	△1,159	△1,159
株主資本合計	4,224,647	4,781,132
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△12,350	55,467
為替換算調整勘定	15,424	14,950
その他の包括利益累計額合計	3,074	70,417
新株予約権	14,669	18,873
非支配株主持分	583,070	575,711
純資産合計	4,825,461	5,446,134
負債純資産合計	7,118,893	7,841,978

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	6,343,223	7,483,533
売上原価	4,607,860	5,277,127
売上総利益	1,735,363	2,206,406
販売費及び一般管理費	1,081,823	1,311,710
営業利益	653,539	894,695
営業外収益		
受取利息	55,003	75,914
為替差益	37,179	81,262
助成金収入	630	1,160
投資有価証券売却益	1,455	30,864
持分法による投資利益	27,943	13,843
受益権売却益	2,457	2,116
その他	4,290	4,668
営業外収益合計	128,959	209,828
営業外費用		
支払利息	1,216	2,128
支払手数料	2,061	5,094
その他	3,410	1,026
営業外費用合計	6,687	8,249
経常利益	775,811	1,096,274
特別損失		
固定資産除却損	3,651	—
特別損失合計	3,651	—
税金等調整前四半期純利益	772,160	1,096,274
法人税等	211,817	342,741
四半期純利益	560,342	753,533
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,841	32,002
親会社株主に帰属する四半期純利益	557,501	721,530

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	560,342	753,533
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△42,775	67,817
為替換算調整勘定	△6,267	△474
その他の包括利益合計	△49,042	67,343
四半期包括利益	511,299	820,876
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	508,458	788,873
非支配株主に係る四半期包括利益	2,841	32,002

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算方法)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デジタル人材 事業	受託開発 事業	コンテンツ プロパティ 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,648,066	2,330,052	365,104	6,343,223	—	6,343,223
セグメント間の内部 売上高又は振替高	351,067	2,065	—	353,132	△353,132	—
計	3,999,133	2,332,117	365,104	6,696,355	△353,132	6,343,223
セグメント利益	692,490	200,528	284,031	1,177,049	△523,510	653,539

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用(主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費)であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

前第3四半期連結会計期間において、エス・エー・エス株式会社の株式を取得し子会社化したため、同社及び同社の子会社である酒田エス・エー・エス株式会社を連結の範囲に含めております。

これにより、受託開発事業においてのれんが232,537千円発生しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デジタル人材 事業	受託開発 事業	コンテンツ プロパティ 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,367,908	2,767,003	348,622	7,483,533	—	7,483,533
セグメント間の内部 売上高又は振替高	157,726	12,755	—	170,481	△170,481	—
計	4,525,634	2,779,758	348,622	7,654,015	△170,481	7,483,533
セグメント利益	707,391	488,528	251,329	1,447,249	△552,554	894,695

- (注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用（主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費）であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。